



1月のほけんだより



令和7年1月
北町保育園

《やけどにご注意!》

冬は暖房器具によるやけどが増える時期です。消費者庁のサイトの事象事例等もご参考にして下さい。**事故例**

- ・ガスファンヒーターから50cm程離れた所で子を膝に乗せ座っていた。気付くと熱風が当たっていた子の足に水膨れが出来ており、通院が必要となった。(1か月)
- ・加熱式の加湿器の蒸気吹出し口に手を触れ、水膨れが出来た。(2歳)



- 暖房器具に直接触れなくても**温風が当たり続けてやけど**することがあります。十分**距離を取り、長時間あたり続け**ないように。
- 加湿器は子どもの**手が届かない場所**に設置し、床に置く暖房器具は**安全柵**等で囲みましょう。
- 加湿器の蒸気に触れたり、**加湿器を倒して熱湯を浴びたり**することがあるので、熱湯がこぼれにくい製品等を検討しましょう。

《子どもの便秘》

子どもでも便秘傾向になる事があります。目安として、**排便が週2回以下**だったり、**痛みを伴う硬い便**が1か月以上続く場合等は**便秘**の可能性が高いそうです。(ころころの小さい便や、かたまりになっていてもでこぼこしていたり、表面がひび割れている便も便秘傾向です。)

直腸に便が留まってしまうと、**直腸が通常より拡張して便意が低下**し、ますます便がたまる**悪循環**となります。そうすると生活習慣や食事の調整で便秘を改善するのは難しく、**お薬を暫く使って「便秘ではない状態を保つ」**必要があるそうです。

腸の変化が固定化する前に、腸の良い状態を保ち、本来の腸の機能を回復してあげることが大切です。主治医とご相談下さい。

子どものスキンケアについて



子どもの肌はバリア機能が未熟なため、冬の間はスキンケアをすることが望ましいと言われております。特に肌が乾燥しているお子さんは、お風呂上り等にワセリンやクリームで保湿することをお勧めします。

また、毎日の入浴で体をきれいにすることは大切ですが、洗浄力の強い石鹸やボディソープで洗うと肌を乾燥させます。刺激の弱い石鹸をよく泡立ててから使いましょう。

衣類は合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激しかゆみのもとに。綿素材がお勧めです。



★1月 保健日程

8日(水) 0345歳児内科

22日(水) 012歳児内科

※1月中にみかん組の視力検査を行う予定です。日程は後日お知らせします。

〈12月 園内感染症状況〉

インフルエンザ 9名

流行性角結膜炎 1名

咽頭結膜熱 2名

アデノウイルス感染症 2名

手足口病 1名

胃腸炎 1名

他、嘔吐9名、下痢5名

風邪症状 44名